

# 分会ニュース

No. 14

発行責任者 多田 一夫

発行編集者 教 宣 部

## 大二両所日笠助役による パワーハラスメントに関する申し入れを行う！

12月31日、J R 東海労大阪第二車両所分会の『分会ニュースNo.13. 12. 11』でも明らかにしてきましたが「大阪第二車両所の日笠助役によるパワーハラスメントに関する申し入れ」を、J R 東海労新幹線関西地本に申し入れました。

J R 東海労新幹線関西地方本部  
執行委員長 船出 信政 殿

2007年12月31日  
J R 東海労新幹線関西地方本部  
大阪第二車両所分会  
分会長 多田 一夫

### 大阪第二車両所日笠首席助役による

### パワーハラスメントに関する申し入れ

大阪第二車両所において主任レポートの「特になし」で提出した組合員に対して、日笠首席助役は指導称して4回も会議室に呼びつけ主任レポートを書かせようと強制・強要を行った。

その中で、日笠首席助役は「二ヶ月間、主任レポートを提出していないのならそのまま続けたらどうですか」と組合員を挑発した。翌日、組合員が日笠首席助役の発言の真意を確かめたら「記憶にございません」と無責任極まりない対応をした。このような対応は、管理者としてあるまじき行為である。

また、終了点呼間際の呼び出しで「話が終わるまで帰さない」と恫喝をも行っている。

日笠首席助役らによる人権を無視した主任レポート提出の強制・強要や恫喝を絶対に許すわけにはいかない。

よって、以下の通り申し入れるので早急に労使協議の場を開催すること。

### 記

1. 大阪第二車両所日笠首席助役による主任レポート提出の強制・強要のパワーハラスメントについて大阪第二車両所の当該組合員に謝罪するよう指導を行うこと。
2. 大阪第二車両所の10月の主任レポート教育時に「特になし」でもいいと言う指導がなされたが、今回「特になし」では受け取りを拒否している理由を明らかにすること。
3. 主任レポートに「特になし」と記入した主任レポートを受け取っている管理者と、数回呼び出しをして強要している管理者がいるがその基準を明らかにされたい。

以上